

事務事業名	農業者年金事務経費		所属部局	農業委員会	単位番号	11011				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	農業委員会事務局	課長名	中込 久男				
			所属担当	総務担当	担当者名	塚原 利幸				
基本政策	基本計画体系	II にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 06	項 01	目 01	細目 020	細々目 11
政策	07	農林水産業の振興	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	12	生産を支える基盤の整備充実								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度) 年度)		法令根拠	農業者年金基金法						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 農業者の老後生活の安定と福祉の向上に加え、農業の担い手を育成確保するという目的を併せ持つ農業者の年金制度である。 ①年金受給者の受給検討の管理を行う。②年金受給者に対し年に1度、現況届の受付して農業者年金の受給権の確認管理を行う。③農地転用、農地の所有権の移転等の申請が出た場合に、農業者年金との兼ね合いの説明を行う。④基金の説明会に参加し、国の動向、制度の変更に関する情報を得る。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)						
				消耗品費		30				
				通信運搬費		29				
				計		59				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容：現況届に基づく農業者年金の受給認定。農業者年金業務研修会への参加・各種申請、届出等の処理。 27年度活動予定：現況届に基づく農業者年金の受給認定。農業者年金業務研修会への参加・各種申請、届出等の処理。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア 現況届受付数 人 イ 農地、年金説明会 回 ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	農業者年金受給者	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア 農業者年金受給者数 人 イ ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	積み立てた原資とその運用益により、生涯にわたり年金が受けられる。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア 農業者年金受給者数 人 イ ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	農業の担い手である認定農業者、家族経営協定者の増加。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア 認定農業者 人 イ 家族経営協定者 世帯

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度	
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
	事業費	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	70	45	45	45	45			
		一般財源	千円	20	14	14	14	14			
	人件費	事業費計(A)	千円	90	59	59	59	59	59	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2		
		延べ業務時間	時間	121	121	121	121	121	121		
		人件費計(B)	千円	551	551	551	551	551	551	0	0
		(A)+(B)	千円	641	610	610	610	610	610	0	0
活動指標	ア	人	600.0	560.0	520.0	480.0	480.0				
	イ	回	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0				
対象指標	ア	人	600.0	560.0	520.0	480.0	480.0				
	イ										
成果指標	ア	人	600.0	560.0	520.0	480.0	480.0				
	イ										
上位成果指標	ア	人	470.0	490.0	510.0	530.0	530.0				
	イ	世帯	27.0	28.0	29.0	30.0	30.0				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	農業者年金基金法の施行に基づき、昭和46年1月に専業農業者の老後生活の安定とともに、適期の経営移譲を通じた農業経営の近代化と農地保有の合理化の促進を図るために開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	担い手不足や高齢化等が進展し、加入者数の減少や収納率の低下等が年金財政の圧迫を招き、H14年に賦課方式(年金給付費用を加入者の保険料で賄う方式)から、加入者の保険料に依存しない積立て方式(年金給付)に移行し、経営移譲年金受給者から、「農地の売買、貸借を行うと支給停止になるので、その制限を撤廃してほしい」との声がある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	現状で問題なし
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	農業者年金事務経費	所属部	農業委員会	所属課	農業委員会事務局
-------	-----------	-----	-------	-----	----------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 農業の担い手、認定農業者の確保及び、政策年金としての役割を担っている。また、総合計画の生産を支える基盤の整備充実にも結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 農業者年金基金法により業務の一部を、市に委託されている。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 ・国の制度上の問題であるため対象の見直しは難しい。 ・意図も国で決められたことであり、現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 現在受給している人には、適正に年金が支給されている。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 農業者年金受給者、被保険者がいる限り影響はある。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 農業者年金受給者、被保険者がいる限り影響はある。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 基金からの委託金(定額10/10)で事業を行っているため、削減はできない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の人件費なので削減できない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 全ての年金受給者、被保険者を対象としているので公平である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について) 受託業務であるので現状のとおり業務を推進していくこととし、制度の変更等があれば農業者年金基金からの支持に従い対応していく。
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
① ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
① ② ③	成果優先度評価結果																					
	コスト削減優先度評価結果																					